

中国労働衛生協会

健康経営優良法人の認定

ホワイト500では2年連続

健康経営のサポート事業推進

健康診断や作業環境測定事業などの「公財」中国労働衛生協会（福山市引野町5-14-2、宮田明理事長、電話084・941・8211）は2年連続で経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2022」の大規模法人部門「ホワイト500」に認定さ



中国労働衛生協会の本部



宮田理事長

れた。「ホワイト500」は申請した大規模法人のうち、特に健康経営の取り組みが優良な上位500社に与えられる。同協会は認定を武器に健康関連事業の一つとして「健康経営優良法人」認定サポート事業を推進する。

健康経営優良法人は「日本健康会議」が従業員の健康管理及び健康増進を積極的に実践している優良企業を顕彰するための認定制度。中国労働衛生協会は18年に着目し、「2019」では

「ホワイト500」に、翌年は大規模法人部門で認定を受けており、4年連続での認定取得。今年度の「ホワイト500」は広島県内では3社が認定されているが、福山市内では唯一。

中国労働衛生協会では認定取得で従業員の生産性向上や定着率の向上、求人応募の増加の経営メリットが出ており、自社の成功経験を地場企業に生かすため、

「健康経営優良法人」の認定取得のサポート事業も進めていく。サポート事業は初期費用5万円など。「2023」の認定取得なら、6月までのキックオフを薦める。

宮田理事長は「認定企業として地場企業の健康経営への取り組みをバックアップしたい。来年度もホワイト500の認定取得を目指したい」と話した。